

講義コード	513152002	
講義名	ライフデザイン CD	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科 (短大)	
講義開講時期	後期	
基準単位数	2	
時間	0.00	
代表曜日	月曜日	
代表時限	3 時限	
科目分類名		
科目分野名		
対象学部・年次		
必須/選択		
担当教員		
職種	氏名	所属
専任教員	設楽 紗英子	指定なし
専任教員	教務委員会 (短大)	指定なし

授業の概要

自分を捉える視点を整理し、仕事や家庭生活に関する様々なルールや規制等について情報を集めながら、人生の道筋と人生における自分の軸について考えていく。

授業の到達目標及びテーマ

社会人として自立した存在になるためには、自分の生き方に主体的に関わる姿勢が必要である。本授業では、自分と自分が歩んできた状況や社会に目を向け、自己実現を目指して両者をすり合わせる作業を通じ、キャリア形成への適応力を高めることを目標とする。

本科目は、幼児教育科のディプロマ・ポリシーの「1、キャリア形成における基礎的知識」を習得し、「6.自学自習・自主自律を実践できる」を達成するための科目である。

授業計画表

ライフデザイン

回	担当教員	項目	内容
第1回	設楽 紗英子	第1回 ライフデザインの必要性について	授業の進め方や目的について説明します。特に、キャリアにおける自己の振り返りの重要性について理解します。
第2回	設楽 紗英子	第2回 労働問題セミナー(特別講義)	外部講師による働き方に関するセミナーです。
第3回	設楽 紗英子	第3回 健やか妊娠セミナー(特別講義)	外部講師による妊娠出産とライフコースに関するセミナーです。
第4回	設楽 紗英子	第4回 内定者報告会(特別講義)	2年生から就職活動の体験談を聞き、就職活動について理解を深めます。
第5回	設楽 紗英子	第5回 とちぎ消費者カレッジ(特別授業)	外部講師による消費問題に関するセミナーです。
第6回	設楽 紗英子	第6回 「私」を振り返る① 自分の定義	自己のイメージについて、自分の視点と他者の視点から探ります。
第7回	設楽 紗英子	第7回 「私」を振り返る② 自分の居場所	今の自分が置かれた状況は、はどのように問題に対処してきた結果なのか、ハプスタンスを用いて振り返ります。
第8回	設楽 紗英子	第8回 「私」を振り返る③ 自分の葛藤とバランス	いろいろな自己との対話を通じ、肯定的に自分を認める術について考えます。
第9回	設楽 紗英子	第9回 自己実現と働くということ① 事例検討	具体例を基に、働くことについて考えます。
第10回	設楽 紗英子	第10回 自己実現と働くということ② グループワーク	働くとはどういうことか、グループで考え、まとめます。
第11回	設楽 紗英子	第11回 自己実現と働くということ③ グループワークまとめ	第10回でまとめた内容を、グループごとに発表します。
第12回	設楽 紗英子	第12回 キャリアについて考える① 大学生活のウソとホント	大学生活について振り返り、自分にとってどのような意義があるのかを考えます。
	設楽	第13回 キャリアについて考える②	

第13回	紗英子	大学生生活を振り返る	大学生活で得られるキャリア上の資産を考えます。
第14回	設楽 紗英子	第14回 キャリアについて考える③ 選択と決断の自己史	自分の強みを今後の進路でどのように活かすのか考えます。
第15回	設楽 紗英子	第15回 キャリアについて考える④ 社会人としての自分	人生すごろくを作成し、これまでとこれからの人生について考えます。

授業時間外の学修

- 1)予習 各回で使用、もしくは、テーマに関連する文献の事前読了を求めます(3時間程度)。
2)復習 各回で扱った内容を指定した方法で振り返り、まとめ、提出してもらいます(1時間程度)。

実務経験の有無

実務経験のある教員が担当する 例：企業団体の実務経験者・税理士・学校現場教員経験者・カウンセラー等

ディプロマポリシーとの関連

①幼児教育者観	②知識・技能	③実践力と実務能力	④人間性と協調性
◎	○	○	◎

ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を越えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行っていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
表現力	授業内容を100%理解しており、臨機応変に自分について他者に伝えることができ、表現力がより豊かに身につけていることが認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自分について他者に伝える表現力が身につけていることが認められる	授業内容をほぼ70%程度理解しており、自分について他者に伝える表現力がやや身につけていることが認められる	授業内容の理解は65%以下と判断できるため、助言・新たな資料提供等の支援を行っている
今後の進路選択の準備状況	授業内容を100%理解しており、今後の進路選択でも臨機応変な対応が出来る、十分に準備が整っていることが認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、今後の進路選択に対する準備が整っていることが認められる	授業内容をほぼ70%程度理解しており、今後の進路選択に対する準備がやや整っていることが認められる	授業内容の理解は65%以下と判断できるため、助言・新たな資料提供等の支援を行っている

成績評価法 (表形式)

	評価基準	備考
定期試験	30%	15回の授業で学んだ内容をふまえ、人生における選択や自己の軸について自分の考えを述べられるかについて評価します。
小テスト等		
成果発表		
授業への貢献度	30%	授業ごとに、テーマに沿った個人あるいはグループの活動を行いますので、積極的に参加してください。
レポート	40%	授業ごとに、各回のテーマについて理解を深める課題を出します。出欠の如何に関わらず必ず取り組み、提出し、授業内容の理解に役立ててください。
その他		

課題へのフィードバック方法

--	--	--

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
掲示板等に正解と講評を掲載する	掲示板等に正解と講評を掲載する 授業の中で解説、講評する	掲示板等に正解と講評を掲載する 授業の中で解説、講評する

ICTを活用した双方向型授業の内容

等 ム 用	クリッカー、アンケート、小テスト ビデオ会議システム チャット 掲示板の活用
-------------	---

アクティブラーニングの割合

総授業時間数の60～100%程度のアクティブラーニングである

アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間） プレゼンテーション コメントシートの活用 小テストや授業内レポートの活用		

教科書

適宜資料を配布します。

SDGsとの関連

に う も	4. 質の高い教育をみんな 5. ジェンダー平等を実現しよう 8. 働きがいも 経済成長
-------------	--

特記事項等

授業計画のうち、特別講義については、開催回を入れ替える可能性があります。

研究室（訪問先等）

中央研究棟2階226研究室

直接研究室を訪ねるか、チャット等で連絡をして下さい。

電話番号

028-667-7111(代表)

授業用E-mail

shitara@sakushin-u.ac.jp